

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 030	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 TYLCV 耐病性で品質及び収量性に優れたトマト大玉品種の選定	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 約10年前から、県内のトマト栽培で、TYLCV による被害が発生し、従来の完熟系トマト大玉品種も被害を受けた。現在、各種苗メーカーから TYLCV 耐病性品種が発表されているが、抑制栽培用品種が中心で、低温肥大性を備え促成栽培等の長段どりに対応した品種が少なく、品質及び収量も従来型の品種に及ばない状況である。 そこで、TYLCV 耐病性品種で、促成栽培等の長期栽培にも草勢が維持できる等、各作型に対応した品質及び収量の優れた品種の選定について、検討をお願いしたい。 ※参考 管内の施設トマト栽培面積 599.4 千㎡ (H28 園芸用施設及び廃プラに関する調査結果)	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部 野菜作物研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) トマト栽培における効率的環境制御法の開発 イ 品種・台木の検討 新たな作目・品種特性検定 ア 野菜の作物・品種特性検定			
対応の内容等 試験研究課題「新たな作目・品種特性検定」の中で土耕において TYLCV 耐病性品種比較試験を実施しております。TYLCV 耐病性品種の比較は、主に8月中下旬の播種となりますが、一部、促成作型（9月中旬播種）においても実施しております。また、現在「トマト栽培における効率的環境制御法の開発」の中で、ロックウール養液耕の抑制長期栽培で、TYLCV 耐病性品種比較試験を実施しています。なお、収穫期は10月から翌年7月です。3つの作型で実施しておりますが、いずれの作型でも長期栽培での草勢、低温肥大性の評価については対応可能と思われます。また試験結果より有望品種につきましては現地実証試験をお願いいたします。			
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			